

もうすぐみなさんが楽しみにしている冬休み。休み中にはクリスマスやお正月など、だれもが心待ちにしている行事があります。ワクワクな冬休みですが、心にも栄養をつけるためにお家でも「読書の時間」を作ってくださいね。



冬休みに読みたい本



- ★ 『ストーブのふゆやすみ』 村上しいこ（作） 長谷川義史（絵） PHP 研究所
関西弁を交え、テンポ良く進むお話と、ユーモラスで楽しいイラスト。冬休みがほしくなったりスキーを教わったりするストーブ。楽しくてあったかい気持ちになる物語。
- ★ 『十二支のおはなし』 内田麟太郎（文） 山本孝（絵） 岩崎書店
お正月に神様のところへあいさつに行くことになった動物たちのゆかいなお話。みんなの人気者のねこは、なぜ十二支に入れなかったの？ 十二支はなぜこの順番になったの？ お話を楽しみながら十二支の成り立ちを考えましょう。
- ★ 『アナと雪の女王』 サラ・ネイサン、セラ・ローマン（作） しぶやまさこ（訳） 偕成社
映画の「アナと雪の女王」のストーリーを描いた小説。挿絵は少ないですが、ストーリーの好きな人におすすめ。冬休みは、普段の学校生活より時間があると思うので、挑戦してみてください。



クイズ

次の漢字はすべて同じ軟体動物を表しています。
どのように読むのでしょうか！？

鮎・蛸・章魚



ヒント：海の中にいる8本足の生き物

答えは『読売Kodomo新聞』

2025年11月13日号を読むとわかるよ！

冬休みの貸出

12月17日（水）

18日（木）

一人2冊まで

借りられます。

※返却は1月7日（水）です。
図書委員会では「図書室おみくじ」を用意して待っています。



10月の答え

ノーベル賞

『読売Kodomo新聞』

2025年10月9日号を読んでみてね。



本でコミュニケーション

☆おすすめの本☆ (図書委員長 萩原颯祐さんのおすすめ)

『トリックアート おばけやしき』 北岡明佳（監修） グループ・コロンプス（構成・文） あかね書房

どのページにもカギが一つかくされています。そのかぎを見つけると、次のページに進むことができます。それぞれのページの中には、本なのに動いているように見えるがいこつや、不機嫌そうだった顔が逆さから見ると笑った顔に見えるなど、不思議なトリックアートの仕掛けがたくさんあります。楽しみたい人、体験したい人は、ぜひ読んでみてください。

